

第II輯 第63巻 第3号 1985年6月

浅田 正：中規模渦の数値実験と木星南熱帯攪乱

住 明正：数値モデルを用いたチベット高原付近の寒気の吹き出しの研究

吉崎正憲：非弾性系における3次元運動方程式の2次精度をもつ差分形について

B. Ross and E. Agee：冬期，東支那海上の対流性ならびに非対流性境界層の航空機による調査

笹野泰弘：ミー散乱ライダーによる大気混合層および遷移層の構造の観測

近藤純正・萩野谷成徳：接地気層の朝・夕の遷移過程の研究

浅野正二・関根正幸・小林正治・村井潔三：筑波における冬季の大気混濁度とエアロゾルの粒径分布：エル・チチョン火山噴火の影響

林田佐智子・岩坂泰信：エル・チチョン火山噴火後の成層圏エアロゾル量の変動：名古屋におけるライダー観測

小林愛樹智：大気中でのアンモニアの濃度について不均一相反応による損失過程

要報と質疑

山中大学・田中 浩・廣澤春任・松坂幸彦・山上隆正・西村 純：大気球搭載グロー放電型電離式風速計による成層圏乱流の観測

林 正康・横山長之・水野建樹：混合層中におけるエアロゾル粒子の鉛直分布

第11回「リモートセンシングシンポジウム」開催のお知らせ

期 日：昭和60年10月30日(水)，31日(木)

会 場：国立教育会館(東京都千代田区霞が関 3-2-3)

講演申込締切：昭和60年7月31日(水)

講演申込方法：A 4版の用紙に 1) 題目，2) 発表者氏名(登壇者に○印)および勤務先，3) 登壇者の氏名，連絡先と所属学協会名，4) 400字以内の概要，5) 希望するセッション名(下記参照，複数可)，6) 原稿枚数(2ページか4ページ)の指定を記入のうえお申し込みください。1), 2)については英文名も併記してください。申込者には指定原稿用紙をお送りします。

一般セッション名：

計測システム：センサ(可視光，赤外線，紫外線，マイクロ波，レーザー)，プラットフォーム，記録方式(PCM, FM, 写真など)，計測機器とその校正など。

データの収集および補正：通信，伝送，前処理

(ひずみ補正，大気効果補正)，グランドトゥレスなど，

データ解析システムと手法：分類手法，テクスチャ解析，光学処理，視覚判読手法など。

応用：環境，都市，資源，地質，農林，水産，海洋，河川，火山，地熱，気象，防災，測量など。

講演の予稿集：講演時間は1件あたり20分とし，予稿集はオフセット印刷で1論文1,480字詰原稿用紙2ページまたは4ページとなります。

講演原稿の締切：昭和60年9月25日(水)

参加費(予稿集代金)：当学会および協賛学協会会員 5,500円，学生 3,500円，一般 6,500円

講演申込先：(☎113) 東京都文京区本郷 1-35-28-303

(株)計測自動制御学会

リモートセンシングシンポジウム係

TEL. (03) 814-4121